

選挙公報掲載文原稿用紙

(活字用)

参議院長野県選出議員選挙

候補者氏名 **松山 三四六**

誰ひとり取り残さない すべての人が幸せに暮らせる信州へ

PROFILE

1970(昭和45)年7月9日生まれ
タレント、ラジオパーソナリティ、歌手、柔道家、元長野大学社会福祉学部客員教授。TV番組出演をきっかけに吉本興業入社。松山千春氏から、芸名「松山三四六」を許される。1994(平成6)年に退社後、渡米などを経てタレント、ラジオパーソナリティ、歌手として活動を開始。

略歴

1993年 明治大学法学部法律学科卒業
2001年 FM長野「346 GROOVE FRIDAY」スタート
2006年 信濃グランセローズの応援団長に就任し応援歌を作成
abn長野朝日放送にて「ザ・駅前テレビ」がスタート
2008年 長野大学社会福祉学部客員准教授に就任
2013年 さくら国際高校(上田市)の校歌を作詞
2016年 四賀小学校(松本市)の校歌を作詞
2019年 台風災害復旧を行うにあたり、長野への移住を決意
2020年 長野県長野市に移住
長野県県民健口大使に就任



松山三四六が
目指す
信州の
4つの未来

1 信州を日本一魅力的な県へ

減少を続ける人口に歯止めをかけ、信州への移住者を増やすため、地域経済を支える企業への支援を行い、農林水産業の活性化、テレワークのしやすいインフラ整備等を進め、信州の魅力をもっと全国へ伝えます。

2 信州を日本一安心できる県へ

未来を担う子どもの教育にしっかりと投資をし、若い人たちが積極的にチャレンジできる社会を目指します。また、年齢、性別、地理的な制約に関わらず、誰でもデジタル技術の恩恵を享受できる「取り残さない」デジタル社会の実現を目指します。

3 信州を日本一元気な県へ

冬期五輪を開催した強みと素晴らしい自然環境を活かして、スポーツの力で社会を元気にします。

4 信州を日本一しあわせな県へ

魅力的で、元気で、安心できる信州を実現することで、信州を日本一幸せな県にします。

さあ、共に創ろう
日本一の信州を



自由民主党公認 公明党推薦
参議院議員候補者 長野県選挙区
松山 三四六
まつやま さんしろう

受付 順位	※	受付年月日	※	年	月	日
		受付者	※			

(※印欄は記載しないこと)

長野県選挙管理委員会